

令和3年8月豪雨災害復旧

その他の
質問事項

▼ 国道153号バイパスについて

新政会
かねこ
金子 かつとし
勝寿



◆ 令和3年8月豪雨災害の復旧状況は

問 昨年8月の豪雨災害では、市内に避難指示が出るなど、市南部を中心に土砂災害によって道路の寸断や護岸に被害が発生したが、道路の復旧状況は。

答 昨年8月の大雨による土木施設の災害復旧については、国の補助を受け実施する公共土木施設災害復旧事業や県など関係機関との協議を必要とする箇所を除き、おおむね完了している。

問 高ボッチ線の開通はいつになるか。

答 市道高ボッチ線の東山ルートについては、大沢ダムの西側付近で、大規模な道路の陥没が生じたため、通行止めになっている。復旧の時期は、地滑りが終息の方向に向かっていていることが確認できないと国の災害査定を受けることが難しいことや、安全な施工ができない

いことなどから、令和4年度中の開通は困難と考えている。

(建設課)

◆ 国道20号塩尻IC〜柿沢交差点の4車線化

問 塩尻IC〜柿沢交差点の4車線化は。

答 長畝交差点周辺を中心に、市道東山山麓線へ向かう車が右折レーンに集中することなどにより、主に朝夕の通勤時間帯に渋滞が発生しており、渋滞対策として、長畝交差点下り線の右折レーン延長を、長野国道事務所へ要望している。4車線化は周辺道路の整備計画を踏まえて要望していく。

(建設課)



陥没が生じた市道高ボッチ線(東山ルート)

地域活力の創出を!!

その他の
質問事項

▼ 各種証明書等の交付手数料引き下げについて
▼ 令和4年度予算について



清風クラブ
ひらま まさじ
平間 正治

◆ ウィングロードビルの活用と大門商店街の活性化

問 長い間、社会経済の停滞が続ぎ、賑わいを取り戻そうとしてきた大門商店街において、一つの核として頑張っていた「オギノ」が撤退した。

ウィングロードビルは、平成5年4月のオープン以来、30年が経過しようとしている。この間、大門商店街にあつて、オギノを始め各商店等は商店街の維持に、一定程度の役割を果たしてきたと評価している。

一方で、大門地域にありながら、もう一つ活性化が図り切れていない現状に、大変残念な思いがある。そこで、市としてこの大門商店街の存在価値や街づくりに果たす役割、位置付けなどについてどの様に考えているか。

答 ウィングロードビルや、えんぱーくなど各々

が中心市街地の賑わいを創出する拠点施設として、市民はもとより広く周辺市町村からの誘引・活性化に大きく貢献している。また、商店街は商業中心からサービス業が集積する複合的なエリアになっている。

こうしたことから、まち全体の賑わい創出につながる役割を果たしていると考えている。

(産業政策課)

要望 大門商店街に対する認識が誤っているのではないか。オギノの撤退は、正に大門商店街が低迷していることの証左ではないか。大門商店街の活性化について、改めて検討すべきだ。



大門商店街に活力を